

南米移住された県人の皆さんの歴史と現在のご活躍について

県では、本年 11 月にブラジル連邦共和国で開催される「ブラジル香川県人移住 110 周年記念式典」、パラグアイ共和国で開催される「パラグアイ県人会創立 50 周年記念式典」等に出席し、祝意を表するとともに、移住された方々の労苦に対し敬意を表し、より一層絆を深め、友好親善関係の強化を図り、青年交流や県内企業の進出、県産品の販路拡大などの促進、本県の PR 等について、引き続き御協力をお願いするために、両国を訪問します。

この機会に、香川県から南米に移住された方々の歴史、そして現在に至る県人の活躍についてご紹介したいと思います。

(1) 移住の背景等

南米においては、戦前より日本政府の移民政策で多くの方々（全国で 103 万人（海外移住資料館 HP より））が移住されています。うち本県から移住した方々は 8,535 人（「香川の国際化データブック」より）です。

ブラジル移住の歴史を例にすると、1908 年（明治 41 年）の笠戸丸移住以降、大正末頃まで、日露戦争後の海外発展熱や農村の過剰人口対策と不況が重なる環境の中、北米への移住制限がなされる一方で、ブラジルでのコーヒー園労働者需要の高まりから、サンパウロ州の渡航費助成制度も相まって、コーヒー農家の農業契約移民としての移民から始まりました。



1930 年代 入植当時の木の風呂桶
(チエテ移住地、ブラジル)



1957 年 豚油とり (チャベス移住地、パラグアイ)



1962 年 2 年目のコーヒー

ブラジル移住の最盛期は、大正末から昭和 16 年頃までです。この頃は、日本はいわゆる昭和恐慌の最中であり、深刻な農業不況に見舞われていました。政府はこれを打開するべく海外渡航費全額補助制度を創設するなど、不況の打開策を移住に求めました。県下でも昭和 3 年（1928 年）に、知事を組合長とする香川県海外移住組合が設立され、農業移民の促進を図りました。

第 2 次大戦で一旦途絶えた移住は、国交回復により、再び進められることになりました。植民地

を含む領土の45%を失い、外地からの引揚者等600万人以上の日本への流入を受け、産業基盤が脆弱で、受入れ困難と見た日本政府は、渡航費の貸付を行うなど、積極的に移民を南米に送り込みました。

本県でも1953年に香川県移住協会（会長：金子知事）が設立され、翌年には本格的な送り出しを行うため、同協会副会長が南米各国を訪問、移住県民の慰労や実情調査を行いました。この結果、55年に県人移住者名簿が作成され、県移住協会ブラジル支部（現ブラジル県人会）が設立されたのです。



移住船内のレクリエーション
（ぶらじる丸：赤道祭－赤道を通る際に安全を祈願して行われる儀式的なお祭り）



昭和40年頃 移住船さくら丸内の様子（食堂）



昭和40年頃 移住船さくら丸内の様子（寝台）



金子知事夫妻媒酌による岩清尾八幡宮での合同結婚式



昭和48年 金子知事がパラグアイ大統領を表敬訪問
(大統領と握手する初代パラグアイ県人会長 笠松尚一氏)

(2) 県人会の皆さんの県への思いと協力

こうした移民の方々は、言葉の壁と想像以上に過酷な環境の中での労働、差別や偏見等を受け、また、戦時中は日本語禁止や強制退去といった苦難や、敗戦時には、いわゆる勝ち組、負け組の移住者内での紛争など、大変な御苦労をされてきました。

そのような中にもかかわらず、県人会の皆様方には、ふるさと香川への思いを持ち、郷土のためにと、イベントに参加し、本県のPRを無償で行ったり、海外進出を検討している県内企業に快く協力等いただいています。こうした皆様方からの周年行事への御招待に応え、参加することにより、積年の御労苦に対し敬意を表し、より一層絆を深め、友好親善関係の強化を図るとともに、青年交流や県内企業の進出、県産品の販路拡大などの促進、本県のPR等について、引き続き御協力をお願いしたいと考えています。



昭和53年6月18日 ブラジル移住70周年記念式典
(海外移住者だより第15集より)

「フェスティバル ド ジャポン・サンパウロ」の様子



FUNFAN展 in ラ・コルメナ市（パラグアイ）の様子



南米・北米訪問の訪問先及び主な内容

R5. 9. 15 現在の訪問先

日程	訪問地	内容
11/11 (土)	アスンシオン (パラグアイ)	日系社会福祉センター (※) 日本・人造りセンター等訪問 (※)
11/12 (日)		パラグアイ香川県人会創立 50 周年記念式典 パラグアイ香川県人会創立 50 周年記念祝賀会 パラグアイ香川県人会員企業等訪問 (※)

11/13 (月)		JICA パラグアイ事務所訪問 在パラグアイ日本国大使館訪問、大使との昼食会 在パラグアイ日本商工会議所訪問
11/14 (火)	サンパウロ (ブラジル)	ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑献花・参拝 在サンパウロ日本国総領事館訪問 (※) ジャパン・ハウス・サンパウロ訪問 (※) ブラジル香川県人会員農場訪問 ブラジル香川県人会との夕食会
11/15 (水)		ブラジル香川県人移住 110 周年記念式典 ブラジル香川県人移住 110 周年記念昼食会
11/16 (木)	ロサンゼルス (アメリカ)	南カリフォルニア香川県人会との懇談会 ジャパン・ハウス・ロサンゼルス訪問 Tokyo Central 訪問 (※)
11/17 (金)		在ロサンゼルス日本国総領事館訪問 全米日系人博物館訪問 ハンティントン財団庭園訪問 在ロサンゼルス日本国総領事との夕食会

※調整中の行程を含み、訪問先を含めて変更になる可能性があります。

訪問先と主な内容

【パラグアイ】

11月11日（土）

○日系社会福祉センター

移住一世世代の高齢化対策として、パラグアイ香川県人会 初代会長の故笠松尚一氏が建設に尽力。神内国際交流事業団（現公益財団法人日本国際協力財団）、日本全国老人クラブ連合会等の協力により平成7年に建設された福祉センターであり、日系人がパラグアイの中で安心して豊かで幸せな生きがいのある生活が営まれるための福祉増進、レクリエーション、リハビリ、福祉・医療等の活動を行う。パラグアイ香川県人会との連携強化につなげるため、パラグアイにおける日系社会の高齢化や高齢者福祉の状況等、県人会を取り巻く環境を把握する。

○日本・人造りセンター

昭和63年に日本の無償資金協力により建設されたアスンシオン市役所付属の総合文化施設。日本語、茶道などを教える教室があるほか、日本大使館主催の日本文化紹介イベントや県からも日本パラグアイ交流展なども開催されている。特に、日本パラグアイ交流展では、これまで県から香川県を紹介する資料やポスター、伝統工芸品等を提供し、パラグアイ香川県人会に香川県のPRをしていただいていた。同施設を見学し、パラグアイにおける香川県の情報発信方法について、意見交換を行う。

11月12日（日）

○パラグアイ香川県人会創立50周年記念式典・祝賀会（参加者100名程度見込）

パラグアイ香川県人会が昭和48年（1973年）4月に創立してから50周年を迎えるにあたり開催される記念式典等に参加し、祝意を表するとともに、移住高齢者の永年の苦労をねぎらい、功績を称え長寿を祝うための高齢者表彰も行う。式典等において県人会会員の皆様との懇談を通じ、関係強化を図る。

11月13日（月）

○JICAパラグアイ事務所

独立行政法人国際協力機構（JICA）のパラグアイにおける現地事務所。パラグアイにおけるJICAの取り組みや現地状況について御説明いただき、今後の協力事業について、県人会との連携の参考とする。

○在パラグアイ日本国大使との懇談、昼食会

中谷在パラグアイ日本国大使主催の昼食会において、パラグアイの情勢や日本との関係、また各県県人会の現状についての御説明いただき、今後の連携について、意見交換を行う。

○在パラグアイ日本商工会議所

約50の主に日系企業による会員で構成された経済団体。パラグアイ香川県人会の初代会長である故笠松尚一氏が初代、第3～14代の会頭を務めた。パラグアイにおけるビジネス環境やパラグアイで日系企業がどのような形で進出しているか等を御説明いただき、県内企業の国際化支援や貿易振興策の参考とする。

【ブラジル】

11月14日（火）

○ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑参拝

サンパウロ市のイビラプエラ公園内に建立されたブラジル日本移民の心情的拠点となっている慰霊碑。県人会からのたつての希望があり訪問するものであり、同慰霊碑への参拝・献花を行い、ブラジル日系社会の礎を築いた先駆移民を弔う。

○在サンパウロ日本国総領事館

世界最大規模の日系コミュニティを有し、南米最大のビジネス拠点であるサンパウロの情勢や日本との関係、また各県県人会の現状等について御説明をいただいたうえで、今後の展開や連携について、意見交換を行う。

○ジャパン・ハウス・サンパウロ

戦略的対外発信の強化に向けた取組の一環として、外務省が世界3都市（サンパウロ・ロサンゼルス・ロンドン）に設置した対外発信拠点の1つ。展示スペースに加え、レストランやショップ等の商業スペースも備え、日本の多様な魅力を発信している。施設の概要や来場者の様子などを確認し、香川県の情報発信や県産品のPRに向けた施策につなげる。

○ブラジル香川県人会員の農場訪問

海外技術研修員として香川県で花卉栽培を学んだブラジル香川県人会員がサンパウロ近郊で経営する農場を訪問し、香川県で学んだバイオテクノロジーを駆使した花の栽培を見学する。海外技術研修が現地ですどのような成果を挙げているか確認することにより、今後の海外技術研修の展開につなげる。

11月15日（水）

○ブラジル香川県人移住110周年記念式典・昼食会（参加者250名程度見込）

大正2年（1913年）に初めて香川県からブラジルへの移住がなされてから110周年を迎えるにあたり開催される記念式典等に参加し、祝意を表するとともに、移住高齢者の永年の苦労をねぎらい、功績を称え長寿を祝うための高齢者表彰も行う。式典等において県人会会員の皆様との懇談を通じ、関係強化を図る。

【アメリカ】

11月16日（木）

○南カリフォルニア香川県人会との懇談会

南米への経由地であるロサンゼルスにおいて、平成28年に創立100周年を迎えた南カリフォルニア香川県人会を訪問し、長年にわたり香川とロサンゼルスをつなぐ架け橋として本県の発展に御尽力いただいたことへの謝意を表するとともに、県人会会員の皆様との懇談を通じ、今後の展開について意見交換を行う。

○ジャパン・ハウス・ロサンゼルス

ジャパン・ハウス・サンパウロと同様、ギャラリーやレストラン、ショップを備えた日本の情報発信施設。これまでも日本人移住の歴史がわかる企画展示を行っており、本年4月から7月まで、犬島の「家プロジェクト」を紹介する展覧会が開催されていた。また、訪問時は、国立工芸館で開催され好評を博した「ポケモン×工芸展」が開催されており、日本国内の企画がどのように受け入れられているのか確認し、今後の香川県の情報発信や県産品のPRに向けた施策につなげる。

○Tokyo Central（ロサンゼルスの日系スーパー）

本年7月27日に「香川県産品の海外への販路拡大等に関する連携協定」を県と締結した株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスがロサンゼルスで営業している全米最大級の日系スーパーマーケット。将来的な香川県産品の展開に向け、日本製品の取扱いやニーズ等を説明いただき、県産品の取扱いの参考とする。

11月17日（金）

○在ロサンゼルス日本国総領事館

北米最大の日系企業の進出地である南カリフォルニアの情勢や各県人会の現状等について御説明をいただき、本県の情報発信や県産品の展開について意見交換を行う。

○全米日系人博物館

日系アメリカ人の歴史と体験を伝えるアメリカで初めての博物館として、日系アメリカ人に関する遺物や写真、フィルム、文書等を広範囲に収集した施設。戦中戦後にかけての日系人の御苦勞を理解するうえでまたとない施設であり、県人会の強い勧めもあり、訪問することとした。

○ハンティントン財団庭園

本年10月に丸亀市の古民家の同庭園への移築が完了することから、ハンティントン財団からのたつての御招待を受け、栗林公園と姉妹庭園協定を締結している日本庭園を含むハンティントン財団庭園を訪問し、古民家を視察する。併せて、今後の交流促進につなげていけるよう、両庭園における日米双方の情報発信等について意見交換や新たな提案等を行う。